*◆ 原稿は上下247mm，左右172mm の中に納める．*

 *◆　表題は３行目から始める．*

題名にはゴシックを用い，主題１行は２７文字以内，

文字の大きさは１６ポイント程度とする．＊

―副題は行を改めて１４ポイント程度で記す―

可視化　太郎○ (可視化情報大学），情報　花子(可視化情報(株)）

# An Example of the Manuscript for

# the Visualization Symposium Japan

### ―Subtitle―

## Taro KASHIKA and Hanako JOHO

##### ABSTRACT

 For the convenience of the authors, an example of the manuscript for the Visualization symposium Japan is shown. \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*\*\*\**《 論文の場合，150語程度の英文ABSTRACT及びKey wordsを入れる．文字の大きさは*

*10ポイント程度とし，字体はCenturyが望ましい．行間は１行分（シングルスペース）とする．》* \*\*\*

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*.

**Keywords:** Visualization, Digital image processing, \*\*\*\*\*\*\*, \*\*\*\* \*\*\*\*\*\*, \*\*\*\*\*\*\*\* \*\*\*

**１．**緒　論

これは可視化情報シンポジウム原稿第1ページの体裁見本となっている．投稿の際，著者は「**原稿投稿要領**」を熟読の上，できるだけこのような体裁に原稿を仕上げる．

**２．**文字及び改行

**2.1**　文字の大きさと改行

　著者名は１１ポイント程度，１行に３６字以内とし，これを越える場合は行を改める．著者名欄は右寄せにする．本文は９ポイント程度，２５字×５０行，２段組とし，段間は１０mm空ける．

　章の間は２行空け，その中央に章名を１０ポイント程度で記す．節の間は行を空けない．

**2.2**　字　体

　原稿には次に示す字体又はこれらに準ずる字体１）を用いるのが望ましい．題名，章及び節名はゴシック，本文は明朝．英文題名，著者名はTimes New Roman, 本文中の英文はCentury.

**３．**図　表

　本文中の図表の表記にはゴシックの字体を用いる．図

表の見本をFig.1と Table 1に示す．キャプションは表の場合は上部に，図の場合は下部に記す．

　　　　　Table 1 Sample of Table

|  |
| --- |
|  |

|  |
| --- |
|  |

 　　Fig.1 Sample of Figure Arrangement

参 考 文 献

1. 可視化太郎,情報花子: 可視化情報学会における論文の書き方, 可視化情報, Vol.100, No.1000 (1998) pp.11-12.
2. Kashika,T.,Hanako,J.: An Example of the Manuscript for VSJ Journal, VSJ Journal, Vol.10, No.5 (1999) pp.10-15.
3. Kashika, T.: Visualization Technique, VSJ Press, Tokyo (1997) pp.1111-1125.

*◆ 参考文献欄の文字は８ポイント程度．*